

8 消防費

1 消防費 1 常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P.365

0501 消防総務事務に要する経費 24,295,643 円 (19,328,756 円)

[その他 3,306,410 円 一財 20,989,233 円]

* 特財内訳

[手数料：危険物許認可手数料 294,800 円]

[手数料：コピー手数料 610 円]

[寄附金：令和5年6月豪雨被害に係る災害支援寄附金 2,830,000 円]

[諸収入：防火防災訓練災害補償等共済てん補金 181,000 円]

○ 目的

各種災害や住民ニーズに的確かつ効果的に対応するため、消防行政事務の円滑な推進を図る。

○ 内容

各種災害の被害を軽減するため、防火衣及びAEDリース並びに災害対应用資機材等を更新し、消防サービスの向上に努めた。また、大雨等の水害対応のため、消防隊員用保護具及び水害用資機材を購入した。

- ・水面救助活動用防水スーツ 2,112,000 円
- ・大型水のう（タイガーダム） 1,342,000 円

○ 効果

消防行政事務の適正な執行と併せて、水害時対応資機材の装備充実が図られ、効率的な消防活動を展開することができた。

[担当：消防本部 総務課] P.367

2201 消防庁舎の管理運営に要する経費 29,643,693 円 (131,414,518 円)

[その他 5,292,000 円 一財 24,351,693 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,350,000 円]

[諸収入：いばらき指令センター基地局電気使用料 227,000 円]

[諸収入：災害共済金 715,000 円]

○ 目的

防災の拠点施設である消防庁舎の整備及び適正な管理運営を図る。

○ 内容

消防庁舎施設の修繕及び庁舎設備の維持管理のため各種業務委託を行った。

梶木消防署污水配管一部修繕 4,851,000 円

○ 効果

桐木消防署污水配管一部修繕が計画期間内に完了し、24時間勤務する職員の職場環境の改善が図られた。また、各種点検業務委託等により、庁舎をはじめ各設備を適正に維持管理することができ、防災拠点施設としての機能が確保され、職場環境の充実が図られた。

[担当：消防本部 総務課] P.371

3401 いばらき消防指令センターに要する経費 23,561,324円 (30,836,460円)

[その他 5,524円 一財 23,555,800円]

* 特財内訳

[諸収入：いばらき指令センター設備保険料受入金 5,524円]

○ 目的

県内20消防本部(33市町)による消防指令業務を共同運用することで、災害情報の一元化による迅速で的確な災害対応の実現、広域的な無線ネットワークシステムによる通信の確保、高機能な消防指令システムと通信技術による業務の高度化などを図り、地域住民の安心・安全に万全を期する体制を構築する。

○ 内容

いばらき消防指令センターの維持管理に必要な負担金である。

取手市分負担金 23,404,000円

○ 効果

近年の大規模災害の頻発により消防防災力の強化が求められている状況のなか、災害情報の一元化による迅速で的確な災害対応の実現及び高機能な通信システムによる消防業務の高度化が図られた。

1 消防費 2 救急業務費

[担当：消防本部 警防課] P.373

0501 救急業務に要する経費 17,178,749円 (6,299,974円)

[一財 17,178,749円]

○ 目的

救急需要の増加及び救急業務の高度化に対応するため、救急資器材及び医薬材料等の適正な供給や維持管理を図る。また、救急隊員の感染防止のため、消耗品の確保や予防接種を実施する。

○ 内容

救急業務で必要とする感染防止衣等の消耗品、アドレナリンやブドウ糖等の医薬材料及び資器材を購入した。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したものの感染リスクは変わらないため、救急活動に必要な感染防止衣等の消耗品を購入した。

- ・感染防止資器材一式 9,709,000円
- ・半自動除細動器一式 3,410,000円

○ 効果

救急事案に対して救急資器材及び医薬材料等を有効に活用し、傷病者を迅速かつ安全に医療機関へ搬送することができた。また、救急隊員の二次感染防止が図られた。

[担当：消防本部 警防課] P.373

0502 新型コロナウイルス感染症対策経費 402,160 円 (14,190,120 円)

[その他 105,160 円 一財 297,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：感染性医療廃棄物処理費 105,160 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染者の移送業務及び疑似患者等の救急搬送業務を行う救急隊員の感染防止を図る。

○ 内容

救急隊員への特殊勤務手当の支給及び救急搬送で使用した消耗品等医療廃棄物の処理を業務委託した。

令和5年中出動件数 () 内は令和4年中の件数

移送件数 22 件 (50 件)

○ 効果

救急隊員の感染防止対策が図られ、感染リスクを軽減することができた。また、新型コロナウイルス感染者の移送業務及び疑似患者等の救急搬送業務を適正に行うことができた。

1 消防費 3 非常備消防費

[担当：消防本部 総務課] P.375

2001 消防団員に要する経費 42,066,992 円 (42,553,294 円)

[その他 7,840,400 円 一財 34,226,592 円]

* 特財内訳

[諸収入：消防団員退職報償金受入金 7,817,000 円]

[諸収入：消防団福祉共済返戻金 23,400 円]

○ 目的

消防団員の処遇及び福利厚生の充実を図る。

○ 内容

消防団員の報酬や手当等をはじめ、消防団員退職報償金及び消防団員等公務災害補償共済負担金などの各種負担金等である。

消防団員の定数 552 人 実数 477 人 (令和6年3月31日現在)

○ 効果

消防団の諸活動をはじめ、地域における自主活動にも積極的に参加する等、消防団員の地域に密着した活動がさらに定着した。

[担当：消防本部 総務課] P.375

2101 消防団の運営に要する経費 43,774,578 円 (58,826,752 円)

[地方債 20,200,000 円 その他 3,723,884 円 一財 19,850,694 円]

* 特財内訳

[市債：消防防災設備整備事業債 21,319,000 円 $\times 1/2 \times 100\% \doteq 10,600,000$ 円]

[市債：消防防災設備整備事業債

(21,319,000 円 - 10,600,000 円) $\times 90\% \doteq 9,600,000$ 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,466,000 円]

[諸収入：自動車災害共済金 199,980 円]

[諸収入：消防団施設光熱水費使用料 57,904 円]

○ 目的

消防団の充実した運営と消防団施設等の整備及び適正な維持管理を図る。

○ 内容

消防団運営の維持、活性化及び活動能力向上のため、第4分団（東1丁目から2丁目）の消防ポンプ自動車を更新した。また、異常気象により同時多発的に発生する内水災害に対応するため、排水ポンプを16台配備した。

・消防ポンプ自動車 21,474,000 円

・排水ポンプ 2,192,960 円

排水ポンプの配備先（各分団1台ずつ、計16台）

	配備分団	管轄地域
1	第1分団	新町、取手1～3丁目、中央町
2	第3分団	取手1～2丁目
3	第6分団	白山、西、中原町、井野台、井野の一部
4	第7分団	青柳、青柳1丁目、井野、井野団地
5	第12分団	下高井、ゆめみ野
6	第15分団	野々井
7	第16分団	稲
8	第22分団	小文間
9	第26分団	東3～6丁目、東5丁目の一部、台宿、取手3丁目
10	第28分団	山王
11	第30分団	毛有、清水、小泉、光風台
12	第32分団	藤代、櫛木、小浮気
13	第33分団	宮和田、片町、平野、藤代南
14	第35分団	浜田、上萱場、下萱場、萱場、紫水
15	第36分団	新川、大曲
16	第37分団	双葉

○ 効果

消防団設備等の更新整備により、消防団活動環境の向上及び地域防災力の強化が図られた。

1 消防費 4 消防施設費

[担当：消防本部 警防課] P.379

2201 消防施設の整備に要する経費 74,588,920 円 (62,087,660 円)

[国・県 16,442,000 円 地方債 52,300,000 円 その他 5,846,000 円 一財 920 円]

* 特財内訳

[国補：緊急消防援助隊設備整備補助金 16,442,000 円]

[市債：消防防災設備整備事業債

(74,588,920 円－16,442,000 円) ×90% ≒ 52,300,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,846,000 円]

○ 目的

水槽付消防自動車を更新し、消防体制の充実強化を図る。

○ 内容

梶木消防署に配備されていた平成12年式水槽付消防ポンプ自動車を更新した。

・水槽付消防ポンプ自動車 74,588,920 円

○ 効果

最新の装備を搭載した車両に更新することにより、消防体制の充実強化を図ることができた。